

サンフランシスコでの短期滞在報告

物理工学専攻博士課程 2年 新谷 大和

平成 25 年度 2 月 11 日から 2 月 27 日までの約 2 週間サンフランシスコに滞在した。主にカリフォルニア大学サンフランシスコ校の Ronald D. Vale 教授の研究室で実験を行った。Vale 教授は私の研究しているモータータンパク質キネシンの発見者であり、細胞生物学と生物物理学的手法から細胞内での様々な現象の研究を行っている。私はそこでリン酸を結合すると蛍光強度が上昇するタンパク質プローブを用いてキネシンの ATP 加水分解後のリン酸解離速度測定を行った。学生の Erik Jonnson の協力もあり有望な結果を得ることができた。

滞在中サンフランシスコで開かれた生物物理学会にも参加した。Vale 教授のシンポジウムで私のポスターの宣伝をして頂いたため多くの方が私のポスターを見に来て下さり、様々な議論ができた。

最後に研究室に受け入れて下さった Vale 教授と実験を手伝って頂いた Erik さん、このような機会を設けて頂いた ALPS の皆様と富重道雄准教授に感謝いたします。



Erik との写真